

危険な状態の見極めとその伝え方

check

患者さんや利用者さんの異常に早期に気づき、
より分かりやすく伝達する方法を学びましょう

Keyword 1 RRS (Rapid Response System)

院内心停止になる前に早期に患者の異変に気づき、心停止になる前に介入することで、予後を改善するシステム

Keyword 2 SBAR

Situation「状況」、Background「背景」、Assessment「評価」、Recommendation「提案」の頭文字からなる言葉で、もともと軍で開発・利用され、航空業界、医療界へと広がりました。起こっている事柄をよりわかりやすく伝達するための方法です。この順序に従って伝えることで、よりわかりやすく伝えられるとされています。

日時

平成30年

6月14日(木)18:30~20:00

受付開始 18:00

場所

島根県立中央病院 研修棟3階シミュレーター室

※ 時間外入口へお越しください 会場までご案内します

講師

島根県立中央病院 医療局次長・救命救急科

松原 康博

島根県立中央病院 救急看護認定看護師

浦部 涼子

島根県立中央病院 集中ケア認定看護師

西尾 万紀

参加費
無料

申込

申込用紙に記載の上、FAXにて送信してください。

定員:20名・先着順 締め切り:平成30年6月12日(火)17時

* 実習がありますので、動きやすい服装でご参加ください。

* この研修は「島根県医師会生涯教育講座」を申請します。

カリキュラムコード:10チーム医療(1単位)、16ショック(0.5単位)



■お申込み・お問合せ

島根県立中央病院 入退院支援・地域医療連携センター

担当 今岡 電話:0853-30-6500 FAX:0853-30-6508

FAX 送信票

申し込み先 島根県立中央病院 入退院支援・地域医療連携センター行き

FAX 番号 : 0853 - 30 - 6508

地域医療従事者対象研修会 危険な状態の見極めとその伝え方

| | 施設名 | フリガナ 名前 | 職種 | 連絡先 | 備考 |
|---|-----|------------|----|-----|----|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

日時 : 平成 30 年 6 月 14 日 (木) 18 時 30 分 ~ 20 時 00 分 (受付開始 18 時)

場所 : 島根県立中央病院 研修棟 3 階 シミュレーター室

講師 : 島根県立中央病院 医療局次長 松原 康博
島根県立中央病院 救急看護認定看護師 浦部 涼子
島根県立中央病院 集中ケア認定看護師 西尾 万紀

受講希望の方は、この申込用紙にご記入の上、FAX をお願いします。

定員 : 20 名 (先着順)

〆切 : 平成 30 年 6 月 12 日 (火) 17 時

【主催】 島根県立中央病院 入退院支援・地域医療連携センター

【問い合わせ先】 島根県立中央病院 入退院支援・地域医療連携センター
電話番号 : 0853 - 30 - 6516 (担当 : 今岡)